

## 第3期宮前区区民会議

### 第1回全体会

第3期宮前区区民会議 第1回会議

1 日 時 平成22年5月27日(木) 午後6時

2 場 所 宮前区役所 4階大会議室

3 出席者

(1) 委 員 山下委員長、恒川副委員長、直本副委員長、浦野委員、岡田委員、  
河井委員、久保委員、小泉委員、佐藤委員、高橋委員、田邊委員、  
谷山委員、種村委員、豊島委員、手塚委員、中村委員、平井委員、  
藤田委員、持田委員、吉田委員

(2) 参 与 山田参与、持田参与

(3) 事務局 和田区長、板橋副区長、岩佐企画課長

4 議 題

(1) グループワークと意見交換

(2) 今後のスケジュール

5 傍聴者 人

午後6時2分開会

司会(板橋) それでは、定刻になりましたので、これより区民会議を開催させていただきます。

本日の進行は副区長になりました板橋と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、今回第1回目でございますので、宮前区区民会議委員の皆様を紹介させていただくとともに、委嘱状の交付をさせていただきたいと思

います。  
本来ですと、委嘱状につきましては阿部市長から交付するところでございますが、本日は和田宮前区長から交付をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。これから宮前区長がそれぞれの方の席に行きますので、委嘱状を順に交付させていただきます。私が一人ずつお名前を申し上げますので、その場でご起立いただき、委嘱状をお受け取りいただきたいと存じます。

それでは、和田区長、よろしくお願いいたします。

(委嘱状交付)

司会(板橋) 続きまして、ここで少し事務連絡をさせていただきたいと思

います。まず、本日の会議次第がございます。続きまして、別紙1で本日の座席表がござ

続きまして、別紙2で第3期宮前区区民会議の委員の方々の名簿があります。そして、次のページはこれから討議を進めますのでお使いいただきたいと思いますが、フリーメモでございます。

次に、議事資料でございますが、まず資料1で任期2年間の流れというものを図で示させていただきます。

資料2でございますが、今後の当面の期間のスケジュールを示させていただきます。

資料3でございますが、宮前区区民会議の枠組みということで、絵のような形で示させていただきます。

資料4でございますが、川崎市区民会議諸規程でございます。

そして、最後に資料5になりますが、5月11日に行わせていただきました事前打ち合わせの意見をまとめたものがA3の資料でございます。

以上が本日の配付資料でございますが、落丁等はありませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日の会議開催に当たりまして、この会議は川崎市議会等の会議の公開に関する条例に基づき、公開とさせていただきます。したがって、この後方のほうに傍聴者・報道機関等の取材の許可をしておりますので、ご了承くださいと存じます。

また、会議録の作成に当たりまして速記者に同席をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

また、本日発言のございました方々につきましては、後日確認をお願いしたいと思いますので、その点についてもよろしくお願いいたします。その発言の確認後の議事録につきましては、区役所のホームページに掲載し、公開をさせていただくということでご了承くださいと存じます。

また、傍聴の方々につきましては、壁や入り口等に張ってございます遵守事項をお守りいただくようお願いいたしますとともに、本日の会議に関するアンケート用紙もお配りさせていただきますので、ご記入の上、お帰りの際にはご提出いただきたいと思います。

## 1 開会あいさつ

司会（板橋） それでは、前置きが長くなりましたが、これより第3期宮前区区民会議第1回会議を開催いたします。

初めに、開会に当たりまして、区民会議の事務局を代表いたしまして、区長の和田よりごあいさつをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

区長 皆さん、こんばんは。皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

平成18年から始まりました区民会議も、今日から第3期がスタートするということになりました。委員の皆様方におかれましては、さまざまな分野で活動をされてこられたということでございまして、その経験やノウハウを活かしていただき、宮前区が暮らしやすいまちになるように課題の掘り起こしをしていただき、さらには課題解決に向けてさまざまなご意見をいただく中で、調査・審議をしていただきたいと考えているところでございます。多くの委員の皆様がいらっしゃいますので、ぜひ他の委員の方々の意見等も参考にさせていただいて、いろいろなアイデアやプランをお出しただければと思っているところでございます。

5月11日に事前の打ち合わせ会議を行ったところでございますが、その中で制度概要等の説明をさせていただきました。また、委員の皆様方からもさまざまなご意見をいただいたところでございます。今日からスタートということで、顔合わせから、心合わせ、そして力合わせということで、よろしくお願ひしたいと考えているところでございます。

今期につきましては、テーマ設定につきまして、じっくり腰を落ちつけて決定をしていくということで考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

それから、区内選出の議員の皆さんには、前期に引き続きまして参与という立場でご助言をいただければと考えているところでございます。

最後になりますが、皆様方の活発な議論をお願ひしまして、簡単ですが一言あいさつにさせていただきますと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

## 2 出席者紹介

司会（板橋） ありがとうございます。

続きまして、次第2の出席者の紹介でございまして、委員の皆様につきましては先ほど委嘱状交付の際にご紹介させていただきましたので、参与でございます市議会・県議会の方々をご紹介いたします。

まず、今日は山田参与にご出席いただいております。

山田参与 どうぞよろしくお願ひいたします。

司会（板橋） なお、事務局のほうには持田参与が遅れていらっしゃるということでご連絡が入っております。また、飯田参与、石田参与、太田参与につきましては、残念ながらご欠席ということでご連絡をいただいておりますので、よろしくご了承いただきたいと思ひます。

それでは、本題に入りますので、ここからは着席して進行させていただきたいと思  
います。

### 3 第3期宮前区区民会議の進め方

司会（板橋） それでは、次第3の第3期宮前区区民会議の進め方に移らせていただきま  
す。

岩佐企画課長より説明させていただきますので、資料等を見ながらよろしくお願  
いをしたいと思います。

事務局（岩佐） 皆さん、こんばんは。企画課長の岩佐でございます。どうぞよろしくお  
願いいたします。

皆様のお手元に配付してございます資料のうち、資料1をご覧ください。こちらの  
資料はA4判横使いの資料になります。「第3期宮前区区民会議 任期2年間の流  
れ」という資料でございます。

私からは第3期宮前区区民会議の進め方ということでご説明させていただきます。  
5月11日に事前打ち合わせ会を開催させていただいた時にも、この流れについては説  
明をさせていただきましたが、今後の検討スケジュールをもう一度再確認をしてい  
ただいて、これからの審議をスムーズに進めていくために若干の説明を加えさせてい  
たきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

こちらの資料1は2年間のスケジュールを1つの表としてまとめたものでございま  
す。これは、いつまでにどんなものを検討し、それをまとめて区長に提出するという  
2年間のタイムスケジュールとして、このような形で示したものでございます。進行  
の目安といたしまして、左側に項目が書いてありますが、年度の下に矢印を4つほど  
入れて進行の目安にしております、5つの段階、ステップを踏みながら、2年間で第  
3期のまとめをしていくということでございます。

まずはじめに第1ステップ、これから始まる部分でございますが、課題出しと審議  
テーマ選び。前回5月11日の打ち合わせ会でも審議テーマ選びは大事だというお話も  
あったと思うのですが、まずこの第1ステップのところをこれから進めていくこと  
になります。

続きまして、第2ステップは現状の洗い出しや先進事例等のリサーチということ  
で、ここでテーマが決まったものに対して専門部会等をつくりまして、具体的に調  
査・審議を進めていくための取組に入るということでございます。

年度が切りかわって23年度になりますけれども、第2ステップを受けまして第3ス  
テップとしましては、アイデア出しと具体的な課題の解決案の検討です。こういう形  
でこの課題については取り組んでいくといいのではないかとというようなアイデア出し

をしていただくというところでございます。

それから、4つ目の段階としましては、それをプランに落とししていくということで、どういう形でやっていくかを具体的なプランに落とししていく作業になります。ここで、区長への報告という形で取りまとめを行っていきます。

最後の3カ月は第3期のまとめ・総括としまして、最終的には区民会議フォーラムを開催しまして、そこで区民の方へ第3期のまとめを報告するということになっております。

当面は平成22年度の5月から8月の第1ステップということで、課題出しと審議テーマ選びをこれから進めていただければと思っております。ここの第1ステップの部分をもう少し詳しくご説明したほうがいいのかと思いますので、1枚めくっていただきまして、次の資料2をごらんいただきたいと思っております。

資料2は、「第3期宮前区区民会議 今後のスケジュール」というものでございます。これは、第1ステップのこれから8月上旬までの内容について書かせていただいております。ここでは5月11日の時点で打ち合わせ会ということで、区民会議とは何か、どんなことをやっていくのか、それを概要ということで説明をさせていただきました。さらに、任期2年の流れとか審議テーマ決定までの進め方などを説明させていただいた後、委員の皆様のご自己紹介や意見交換をフリートークの形で進めさせていただいております。

本日5月27日の全体会①にグループワークと意見交換と書いてありますが、いよいよここからもっと具体的に課題・審議テーマを決めていくための作業に入ることとございます。今日は、5月11日のときにアイデア出しの部分で皆様方に宿題的なものをお願いしておりますので、そちらをグループワーク等で意見交換していただきたいと思っております。それに基き全員での意見交換等をしながら、次の6月29日のテーマ検討会は審議テーマの方向性を確認する場になると思っておりますので、今日の結果を受けて課題の整理等をしてまいります。また、課題の分類等もしたいと思っておりますし、過去、第1期、第2期と続いておりますので、その辺の分類、関連づけ等もさせていただきながら、テーマの方向性の確認をお願いしたいと思います。

ここに3つの黒ポチで書いてありますが、この辺を念頭に置いてテーマ選びを進めていただければ、よろしいかと事務局としては考えております。

それから、また後ほど説明いたしますが、7月21日には企画部会が立ち上がっておりますので、テーマの優先順位付け等をしていただければと思っております。ここでは、検討の結果、どれをテーマとするのかという優先順位をつけていただきたいと思っております。また、企画部会自体は通常は委員長、副委員長に部会長さんが入るイメージなのですが、まだこの段階では専門部会が立ち上がっていませんので、拡大企画部会のようなイメージを抱いております。この6月、7月のところに委員の方にご参加いた

だきながら、テーマ選びをお願いしたいと思います。

さらに、8月3日が第2回の全体会になりますが、ここで審議テーマを決定していただき、専門部会をつくっていただく形がよろしいかなと思っております。個別の調査・審議を専門的・効率的にやっていくためには、20人の委員の方が一堂に調査・審議を進めるというのは難しい部分もありますので、この専門部会をつくる形をお願いしたいと思っております。

また、部会の数なのですけれども、テーマがいっぱいあるという中で、あれもこれもというのものもあるのかとは思いますが、ここにいらっしゃる委員さんが20名であるということや、それを支援いたします事務局の体制もございますので、2部会が適切かと考えておりますので、2つの部会をつくるイメージで今後テーマ選定を進めていただければと事務局としては考えております。8月3日の全体会でテーマや所属部会が決められれば、その後プレ部会という形で部会ごとに分かれて自由な意見交換等をしていただきながら、それ以降の部会の検討につなげていただければと考えております。

それでは、資料1に戻っていただきたいのですが、今ご説明したのは、左上の課題出しと審議テーマ選びについて詳細にお話をさせていただきました。この後、第2ステップに進んでいくわけですが、今後の会議スケジュール等もございまして、今ここで6月、7月、8月の日程を示させていただきました。その後の全体会につきましては、おおむねということでご理解いただきたいのですが、第3回については11月9日から12日の間、第4回につきましては、年が明けまして2月10日から14日で考えております。日程につきましては、後ほど企画部会や正副委員長さんともご相談させていただきます。

また、1年間の活動が終わりましたら、中間のまとめ等もいたしまして区民の皆様にご報告するというところで、フォーラムも予定しております。こちらは3月12日の土曜日を第1候補にしているのですが、この辺につきましてもまた今後調整してまいります。今年度の日程としては、このように考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、資料3に区民会議の枠組みを描いた模式図がありますが、この説明に入る前に資料4を出していただきまして、こちらで企画部会の説明をさせていただきたいと思ひます。先ほどから、7月に企画部会を開きますというお話をさせていただいているのですが、その根拠についてお話をさせていただきたいと思ひます。

資料4は諸規程の体系図になりますが、こちらについては例えば上のほうにある自治基本条例ですとか、その下の区民会議条例につきましては、5月11日の事前説明会の中でビデオを見ていただいたり、説明を申し上げたりしましたので、本日は省略をさせていただきます。下のほうに、区民会議が定めるものとして運営要領がございま

す。それから、区長が定めるものとして区民会議の要綱というものがございます。ここに企画部会の根拠がありますので、ここだけを紹介をさせていただきたいと思いません。

こちらの資料の最後のページをごらんください。資料ページでいいますと4ページの下の方になります。ここの真ん中より少し下に（専門部会）第4条というところがあると思うのですが、こちらの第4条第1項の2行目に常設の企画部会を置くということが定められています。また、必要に応じて個別専門部会を置くという規定を設けておきまして、企画部会については常設ということになっています。また、その下の2と書いてあるところに、企画部会は委員長、副委員長及び委員若干名で構成するという規定が定められております。したがって、本日の全体会以降は企画部会をつくるということになります。

それについては、資料3の宮前区区民会議の枠組み図に戻っていただきたいのですが、この中で真ん中のほうに大きな太枠がございます。ここの左下のほうを見ていただきますと、「課題の把握」の下に「専門部会」ということで囲みの点線がついています。この左側が企画部会ということで、先ほどの条文等を絵として落とすとこんな感じになるということがございます。ここに企画部会の構成や、やるべきことが書いてございます。以上のことから、企画部会については必置ということになりますので、置かせていただきたいと思えます。また、メンバーでございますが、この後の議事で委員長、副委員長を選出させていただきますので、委員長、副委員長には入っていただくということになります。

また、この企画部会の役割から見ますと、議事の事前調整・課題の整理等もございしますので、この辺につきましては8月に専門部会が立ち上がりまして、「委員若干名」とありますが、部長さんには企画部会に入っていたほうが議事がスムーズに進むのではないかと考えておりますので、8月の全体会を受けまして企画部会の委員さんを正式に決めることとし、当面は委員長、副委員長という形でやっていただければと思っております。

事務局からの説明は以上でございます。

司会（板橋） ただいま資料に基づきまして説明させていただきましたけれども、ここで特段何かご質問等がございますでしょうか。

ございませんようでしたら、正副委員長の選出へ移りたいと思えますが、よろしいでしょうか。

#### 4 正副委員長の選出

司会（板橋） それでは、次第4の正副委員長の選出につきまして、企画課長より説明を



させていただきます。

事務局（岩佐） それでは、もう一度資料4をご覧くださいと思います。先ほどは資料4の体系図の中で一番後ろのページの要領にある企画部会のお話をさせていただきましたが、今度は区民会議運営要綱で説明をさせていただきます。

体系図の次のページをめくっていただきますと、こちらが区民会議要綱というものでございます。3ページまであり、13条の条文で規定がされております。このうち、ページ数でいくと2ページの中段のところには第8条がございます。こちらを見ていただきますと、委員長と副委員長の規定がありまして、区民会議に委員長及び副委員長2名を置くということが規定されております。そこで、委員長と副委員長になられる方2名を決めていただければということでございます。ここにつきましては、5月11日の事前打ち合わせ会においてすでにご相談させていただきました。委員の皆様からご推薦をいただき、委員長には山下委員、また副委員長には恒川委員と直本委員ということで、皆様から一致してご推薦をいただいているところでございます。本日は第1回目の全体会ということでございますので、改めて山下委員、恒川委員、直本委員に委員長、副委員長をお受けいただきたいということでお諮りしたいと思いますが、いかがでございましょうか。

（拍手）

事務局（岩佐） ありがとうございます。

では、3人の委員の方にそれぞれご就任をお願いしたいと思います。

司会（板橋） ありがとうございます。それでは、改めまして、委員長は山下委員、副委員長は恒川委員、直本委員とさせていただきますと思います。

ただいま互選されました委員長及び副委員長からそれぞれ一言ごあいさつをいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

山下委員長 公募によりまして委員となりました山下でございます。よろしくお願ひいたします。

先般の事前打ち合わせ会で委員長ということをご指名いただきまして、お引き受けいたしました。微力ではございますが、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

自治基本条例では市民参加ということが非常に強調されておりましたけれども、区民会議はその最たるものでございまして、その意味では課題を解決するということで市民が参加するということは非常に意義のあることだと区民会議を理解しております。区民会議も第3期ということになりまして、第1期、第2期ではある意味では試行錯誤というような面もありましたけれども、第3期ではこれからの方向性というようなことがありまして、非常に重要な場面になってくるのではないかと思います。それを乗り切るといふ意味で務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

私の地元の活動としては自治会が主体でございまして、そういう意味ではここにおら

れる委員の方々は諸団体から出ておられますし、あるいは2期から続いて出ておられる方もおりますので、皆様方のご協力をひとつよろしくお願ひしたい。そういうことをお願ひいたしまして、私のごあいさつといたしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。（拍手）

恒川副委員長 第2期は公募、第3期は区長推薦ということで区民会議委員になり、そして先般の皆様のご推薦で副委員長をやれと。凶らずも、私みたいな人間がやってもいいのだろうかというのが実感でございます。別紙2の名簿でいけば19番の恒川でございます。よろしくお願ひいたします。

副委員長というのは山下委員長を補佐して、皆さんが気楽に——私は実を言うと、今日の会議が始まる前に企画課長と話をし、「ワイワイガヤガヤ話し合えるような場の区民会議にしたいね」と。「ワイワイガヤガヤという言葉は区民会議のような場で使っていないですか」と言ったら、「いいですよ」と言うので、まさに言うなればみんなが気楽に楽しく言いたいことを言い合って、その中から我々の宮前区をどうしたらいいのかという答えを出していければいいのではないのかなと思っております。

何はともあれ、私一人、あるいは委員長、副委員長でこの会がうまくいくものではありません。皆さん全員の参加ということがこの区民会議を盛り上げる第一歩だと思いますので、ぜひともご協力を。私は微力で何も能力がありませんので、至らない点についてはしっかりと尻を叩いていただきたいなど。そして、第3期、やってよかったなと皆さんと喜び合えるような期にしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。（拍手）

直本副委員長 直本でございます。今日は遅れまして、大変申しわけありません。3時半までこの区役所のこの部屋にいたのですけれども、終わった後、徒歩3分と一番近いので安心して、帰ってちょっと一眠りしたら、ウサギとカメではないのですがちょっと寝過ぎてしまいました。申しわけありませんでした。

私は犯罪や非行をなくすためのいろいろな活動に今までずっと取り組んできておりました。そういった関係ではいろんなところの活動にも参加してきていたのですが、そういった世界から全く離れて、地域づくりといったような形でかかわるのは今回初めてでございます。したがって、宮前区についても私のまだ知らない部分が非常に多いなということを先日の準備会でも感じさせていただきました。皆様方の意見を聞かせていただきながら、私で役に立つことがあれば一緒に力を合わせてやっていきたいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。（拍手）

司会（板橋） どうもありがとうございました。

それでは、これからの進行は委員長のほうにお願いをしたいと思いますので、山下委員長、よろしくお願ひいたします。

## 5 議 事

### (1) グループワークと意見交換

山下委員長 それでは、実際の議事を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

事務局からバトンタッチを受けまして、これからグループワークに入っていきたいと思ひます。第1回会議の進行表に基づきまして、それを進めていきたいと思ひます。

今日は全体会の第1回でございますが、先ほど事務局から説明がありましたとおり、テーマを決めていかなければいけないということで、第3期のテーマを決めるのは8月ということになっております。その間にテーマを決める会議をつくりまして、第3期のテーマを8月に決める。資料2のスケジュールにしたがいまして、これから8月のテーマ選定に向けて議論を進めていきたいと思ひしております。

先日の打ち合わせ会では、各委員が普段感じていることを自由に話していただきまして、資料5にそれがまとまっております。これが今申し上げました資料5であります。今日はそこから一步進めて、区民会議で話し合うテーマについて意見を交換していきたいと思ひしております。皆さん、この前からお願いしておりました、それぞれの考えを整理したものをお持ちいただき、その考えていただいたものに従いまして話し合いを進めていきたいと思ひしております。

話し合いの方法につきましては、この形のまま全員でやる方法もございませうけれども、できるだけ意見を出しやすい雰囲気をつくっていききたいと思ひまして、各委員の発言時間を多くするために、10人ずつ2つのグループに分けて話し合うのがよいと思ひしておりますが、いかがでございませうか。

(「異議なし」の声あり)

山下委員長 それでは、2つのグループに分かれて話し合い、各グループの発表を経て全員で改めて意見を交換したいと思ひます。各グループで話し合う場所を後方の席に設けておりますので、その席にお移りいただきまして、2つのグループに分かれて各グループの発表までもっていききたいと思ひます。その後、改めて全員で意見を交換したいと思ひます。

グループの組分けについては、事務局から提案などはございませうか。

事務局(岩佐) それでは、グループ分けについては、事務局から案を出させていただきます。ただ今、皆様のお手元に案を配らせていただきますのでご覧ください。

今回の宮前区区民会議の委員構成の特徴といたしましては、年齢層のバランスが非常にいいというのが一つございまして、30代の方からシニアの方までいろんな年齢層の方がいらっしゃいます。またもう一つ、男性と女性の比率もほぼ半々ということ

で、大変バランスがとれた委員構成になっているとっております。今回のグループ分けに当たりましてはその辺を意識いたしまして、幅広い意見が出るように、また年齢構成や男女比も意識しながらグループ分けをさせていただきましたので、こちらの事務局案についてお諮りいただければと思います。

また、この後の進行につきましては副委員長さんにしていただければと思います。また書記のほうは我々事務局も務めますので、この案に基づきましてこれから進めていただければと思います。

山下委員長 それでは、この組分けに従いまして、場所は奥のテーブルにお移りいただきまして、進行は各副委員長、書記は事務局とコンサルの方でお願いしたいと思えます。時間配分については、グループワークは19時20分まで、発表は5分ずつとしまして、19時半までということを進めたいと思えます。その後コンサルタントに少しまとめていただきまして、19時35分には再度全員で意見交換としたいと思えます。

グループの振り分けについては、この用紙に従って窓側は恒川副委員長のグループ、廊下側は直本副委員長のグループ、そこにお座りいただきたいと思えます。この事務局の提案どおりのグループの組分けでいかがかと思えますが、よろしいでしょうか。

それでは、この分け方に従いまして奥のテーブルに移動していただきたいと思えます。では、移動をよろしくお願ひします。

事務局（岩佐） 傍聴の方につきましては、A、Bグループの脇に椅子を置いてありますので、そちらのほうにお移りいただいて、それぞれ委員の皆様の検討の状況を見ていただければと思います。

また、委員の皆様は前回お願ひしてあります宿題をお持ちいただいた上で、それぞれのグループのほうに移っていただきたいと思えます。

窓側が恒川副委員長のグループです。恒川副委員長、よろしくお願ひします。それから、廊下側は直本副委員長のグループですのでよろしくお願ひします。

また、時間については、事務局のほうで適宜アナウンスさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

それでは、よろしくお願ひいたします。

(グループワーキング)

山下委員長 それでは、2つのグループとも取りまとめが終わったと思えますので、それぞれ発表をお願いしたいと思えます。

まず、恒川さんのグループからお願ひいたします。

恒川副委員長 みんながワイワイと意見を言ひまして、もっと時間が欲しかったというのが実感でございます。

時間がないのでわかりやすく。まず、ここから見て1期、2期の検証をすべきでは

ないかということです。言うなれば、1期、2期の区民会議でのいろんな提案がどう生かされているか。そして、第3期はそれをもっと発展させるという意味では、何はともあれ、1期、2期の検証が大事なのではないのでしょうか。そして、3期では情報収集。1期、2期でもいろんなことをやった、あるいは区民会議だより、区民会議でいろんな提案をしたとしても、なかなか区民に伝わっていない。情報発信としては、もう少し地元の町会とか団体などのいろんな面を活用するということでしょうか。中には、「回覧物が多過ぎて見てないよ」という意見もありまして、全くそのとおりだと思います。

そして、そういう情報の収集・発信をして、次に必要なのは何をやりたいと言った場合の担い手をどうするかということですね。担い手ということについては、やっぱり各種団体の利用・交流、あるいはネットワーク化。わかりやすく言えば町内会・自治会、老人会もあるでしょうし、子ども会やPTAもあるので、そういういろんな団体の活用・交流、そしてそのネットワークというものが必要なのではないだろうか。それによって安全・安心なまちができるし、また地域を見直して特性を生かした話題もできる。そして、前回私が言ったと思うのですが、宮前地区と向ヶ丘地区の地形の違いもあるし、いろんな違いもあるという意味では、地産地消の問題についてもまだまだ捨てたものではない、たくさんあるじゃないかということで、第3期についてはこういう身近な問題を一つずつみんなで話し合っていこうかなということで、終わりでございます。

こんなところでいいのかしら。

山下委員長 どうもありがとうございました。

それでは、次は直本さんのグループにお願いいたします。

直本副委員長 今、恒川さんのグループと半分ぐらいは重なっておりますが、考え方が若干違うところもあるかと思えます。

まず、いろんな問題が出ました中で、問題としてはまず公園が少ない。「自分たちのところは公園がないよ」というところも幾つか出ました。それから、人材が引きこもって出てきていないといったような問題ですとか、先ほどの地産地消の問題、そういった問題についても必要なのではないかといったような意見が出ておりました。その中で、そこに書いてありますのは、観光地がないとか、区役所へのアクセスが悪いという問題も出たのですが、この辺はすぐに取り上げる問題ではないだろうということでした。

非常に大事ではないかという意見で多く出ましたのは、やっぱりコミュニティづくりです。それには、大きなイベントについてよく考える。そのイベントには自分たち、この区民会議に来て積極的にかかわっている人だけではなくて、やはり50歳とか60歳のシニア世代、あるいは家の中に一人でいて余り出て行っていないような人た

ち、そういう人たちに多く関わってもらう必要があるのではないかと。そのためにはどうしたらいいのかということで、やはり引きこもっている人を引っ張り出すためには、いろんな情報が十分伝わるような発信をしていかなければいけない。そのためには情報の収集をしなければいけないし、どういう情報を発信するのがいいのかなど。そういうところによって、変えていける方法というのはまだまだあるのではないかとということが出ております。

それともう一つは、子育てですとか高齢者の問題ですとか、そういったいろんな問題が出た中で、区民会議1期、2期の検証というのが出ておりましたけれども、区民会議は2年で1期という一つの活動が決まってくるけれども、こちらのほうでは、それを1期、2期ではなくて、10年なら10年というスパンの中で、区民会議が目指すもの、区民会議が方向づけていくようなものを一つ頭に置いて、活動のテーマなり活動のあり方を決めていかなければいけないのではないかと、区民会議の方向づけも頭に置いて決めていこうといったような意見が出ておりました。

大体そんなようなことだったと思うのですが、足りない点があったらつけ足していただきたいと思います。

山下委員長 どうもありがとうございました。

それでは、まとめをコンサルタントの佐谷さん、お願いできますでしょうか。

佐谷氏 こんなに今おっしゃっていただいたのでまとめるところはないんですが、今日はこれから2年間やっていくためのテーマを考える1回目ということだと思うのですが、そのときにまずこちらで出ていたテーマを決めるときの考え方として、例えば10年ぐらいのスパンでやっていこうという話も出ていましたし、それから、こちらのほうの1期、2期を検証してテーマを考えていこうという、テーマを考える前段ですね、考え方としてこういう意見が出ていたと思います。

あと、具体的なテーマとしては、一つは人の話というので人材づくり、こちらでは担い手づくりというものが題で出ていたと思いますし、あと情報発信というところで先ほどもお話がありましたが、こちらで出ていたのは、単に情報発信というよりは区民会議20人だけではできないこともあるので、もっと巻き込みながら何かやっていけないかというようなことにつながる情報発信という話だったと思います。こちらのほうでも同じように収集・発信というところがあったということで、この情報発信と人材という2つのテーマは両方に出ていたと思います。こちらのほうは子育て、公園、イベント、コミュニティづくりというのが具体のテーマとしては出ていましたし、こちらは安全・安心とか緑、地域特性というのが具体のテーマにつながるものとして出ていたと思いますので、その辺をこれからどうやってまとめていくかということ、これから2回ぐらいやりながら皆さんと話し合っていこうと考えております。素材が出てきたと考えていただければと思います。

以上です。

山下委員長 発表、並びに、よく取りまとめていただけてどうもありがとうございました。

それでは、ここで前の席に戻りまして、もうちょっと話を続けたいと思います。お戻りいただければありがたいと思います。

(座席移動)

山下委員長 それぞれ発表いただきまして、いろいろ取りまとめていただきましてありがとうございました。

共通の意見、その他いろいろございました。ここで、もう一言何か言いたいという方はいらっしゃいますか。おられましたらご発表いただければと思います。発表された方も補足するご意見が何かございますでしょうか。

それでは、ここで委員の方の意見は大体まとまったと思います。実際にはこれを集約して、検討の題目にするというのはなかなか難しいことですが、これはまずは順次行ってまいりたいと思います。

今日は議員の方に参与としてご列席いただきましてありがとうございました。区民会議とはちょっと違うと思うのですが、議員の方はそれぞれ議会で議決されたりするということがございますが、やはり区の中でも共通の課題というのがあるかと思えますので、何か一つご意見があれば今いただければありがたいと思います。よろしくをお願いします。

山田参与 皆様、お疲れさまでございました。参与の山田でございますけれども、今、皆さんの討議を聞かせていただきました。私も1期目、2期目も参加させていただきましたので、皆さんの思いというものがよくわかるつもりでございます。

1期目は地域の課題とは何かということから選出をしたという中で、さらに2期目のときには、地域の財産というものを掘り起こしてみようという話の中で進めてきた。それをさらに具現化していこうというのが今回の話であったように思いました。その中で、私も聖徳太子ではありませんから両方は聞き取れませんでしたけれども、特に安心というお話も出てまいりましたけれども、私はこういうふうに解釈したんですね。例えば、子どもであっても、あるいはもう少し上の世代の方であっても、高齢者の方であっても、皆さんが安心して集える、そういうものであってもいいのかなと思いました。そういうことからして、年代層が幅広くこの区民会議に鳩合できるということが一つ大きなテーマとしてあるのかなと思います。

それからもう一つ、緑ということも出てまいりました。これについては、確かに大事だなと思っておりまして、例えばこの区民会議というのは情報発信であり、あるいは地域の方々と情報を共有するという意味合いがあると思うんですね。ついこの間、生田緑地で全国植樹祭という、そのサテライト会場となっております。その際に

私がすごく感銘したのは、そこの地元小学校のお子さんがドングリの木の苗を市長にお渡しをしておりました。それはすごくいいことだなと。皆さんが公園を大切にしよう、緑を大切にしようという中に、先ほど10年をスパンにという話もありましたけれども、そうやっていくとみんなが共有した形になっていくのかなと思ったりもいたしました。

それからもう一つ感じたことは、山坂の話をフロントウンの方がされていらっしゃるけれども、宮前というのは山坂が大変に多いわけです。前回いろんなかるたをつくりました。いろんな名称とかそういったことについての知識があると思うのですが、目黒区では、坂というものを、マイナーな部分でなくて健康志向でメジャーな形としてとらえてやっているというようなことがあったものですから、ぜひそういったことも含めてやっていくといいだろうなとも思いましたし、いろんなことを感じたのですけれども、とにかく最終的にはこの会議だけではなくて宮前区の方々が鳩合できるようなものにしていけることが一番大事だなと。

最も卑近な例としては、多摩川の河川敷には何も言わなくてもあんなに人が集まるというのは、やはり多摩川という自然に対して魅力を感じて来るということであれば、今、平瀬川や矢上川でいろんな活動をされていていらっしゃる方、緑地の中で活動されていていらっしゃる方たちのそういった部分を活かしていくと、もっともっと区民会議の内容というものが広く伝わっていくのではないかということを感じた次第でございます。

これからもしっかりと参与として関わってまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。ありがとうございました。

山下委員長 ありがとうございます。

持田参与 皆さん、こんばんは。大変遅くなって参りまして、皆様方がお話しいただいていることも全く掌握をできませんで、大変申しわけなく思っております。

皆様方が3期目の委員の方々ということで、新たな方々が大勢いらっしゃるわけがあります。1期、2期、いろいろな積み重ねがあったことかと思えますけれども、さらにまた新たな感覚を持ってということになるろうかと思えます。

先日、植樹祭が秦野でございました。南足柄と2会場であります。私もそちらのほうへ参加をさせていただきまして、神奈川県も東京に近い川崎・横浜、また県央・県西、それぞれに色があり顔があるのかなと感じた次第であります。そういう中で川崎にこれを置きかえてみますと、川崎区から多摩区・麻生区まで7区、多摩川と南武線に直接接しているのが川崎区から多摩区までの5区でございます。内陸部は宮前区と麻生区。おのずと条件・状況が違うわけですね。そういう中でそれぞれの区の特徴を活かしながら、また足らざるを補っていくというのがこの区民会議のいろいろな起点につながっているのかなと思っております。



ですから、私たちも議会に出向かせていただいておりますけれども、皆様方が日ごろ身近で感じられているいろいろなことや地域のことを反映するという点については、私たちが1期目のときに議会で発言していたこと、それから今4期目になって発言をさせていただくことは、本当は同じでなくていけないと思っております。しかしながら、議会の中での発言となりますと、少しテクニックが入ってきたりしてしまうんですね。でも、それが良いのか悪いのかの議論はさておきまして、いつも私も1期・2期生に、「一番民間の方々に近いのが1期生ですよ」と。ですから、その感覚を忘れないでつなげてほしいということを私はみずからの経験の中で思うんですね。ですから、3期目の皆様方で新しく委員にお入りいただいた方々は、その新たな感覚をさらにこれまでの2期の蓄積に重ねていただければというようなことを思わせていただきながら、またお世話になりますのでよろしくお願いいたします。

山下委員長 どうもありがとうございました。

参与の方、お二人から貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

区内では同じ課題を持っていると思いますので、今後ともひとつよろしくお願いしたいと思います。

## (2) 今後のスケジュール

山下委員長 では、先ほどから幅広い意見が皆様から出たわけでございますが、今日出ました意見はこちらで一旦引き取りまして、先ほど事務局のほうからも示しがあつたと思うのですが、6月のテーマの検討会で一度整理・分析しまして、7月の企画部会で審議テーマ案をまとめていきたいと思っております。それで、8月の第2回の全体会でテーマを決定していきたいと思っております。6月のテーマ検討会では第1期、第2期区民会議における意見や区役所で既に把握している課題と突き合わせて、意見の分類・関連づけを行います。7月の拡大企画部会では、テーマの順位づけと絞り込みをやります。企画部会案の作成を行うことなどを予定しております。

後日、事務局から案内があると思いますが、特に6月のテーマ検討会は参加者に制限がございませんので、皆さんぜひご参加をお願いしたいと思います。また、7月の企画部会についても、現状の部会委員として正式には正副委員長の3名が企画部会でございますが、拡大型として開催いたしますので、これも事務局から追ってご案内を差し上げます。ぜひ皆さんご出席いただきたいと思います。

## 6 その他

それでは、本日予定されておりました議事はこれで終了となります。皆さん、何か他

にございますでしょうか。

なければ、この進行をあとは事務局のほうにお任せしたいと思います。どうもありがとうございました。

## 7 閉 会

司会（板橋） どうもありがとうございました。本日は長時間にわたりまして活発にご議論いただき、誠にありがとうございました。

それでは、これもちまして、第3期宮前区区民会議の第1回会議を閉会いたします。

本日は長い間どうもありがとうございました。

午後8時5分閉会